

伏見市長(枚方市)、メタウォーター(株)とともにヒノキ間伐体験(12月11日(日))

3回目となるメタウォーター(株)14名の活動に合わせて、伏見市長、小山副市長、土木部長以下の枚方市幹部がヒノキ間伐に初挑戦した。希望に沿いチェーンソーを使わず手ノコでの伐倒、枝・玉切りだったが、さすがに市長以下は、ノコギリが良いのかメタウォーターの若い人に負けないパワーでヒノキを伐り倒し、汗とともに日頃のストレスを発散していた。伐

倒後は皮むきに挑戦。夏場のような豪快さは味わってもらえなかったが皆にぎやかに作業を楽しんだ。昼食後メタウォーターの皆さんは竹を使って花器や食器、箸づくりに挑戦し、一部は竹の間伐を行った。環境保全活動の普及とともに地域貢献を目標とする我らにとってもアピールの良い機会となった。(西本敏明)

ネットヨタ新大阪(株)山之上店ヒノキ間伐体験(11月28日(月))

ネットヨタ新大阪(株)よりの自然環境保護のための体験要請を受け、2015年6月牧野店、10月北山店、2016年10月枚方店に続いて4度目の活動参加です。山之上店山田店長以下営業

担当の11名が来場し、2班に分かれてヒノキ間伐、竹細工体験に挑戦した。各店別にヒノキ間伐体験を実施している。(西本敏明)

枚方市里山講座「The “里山楽校”ヒノキ間伐実習受入(11月30日)

枚方市里山講座「森の匠に教わる里山のイロハ」The “里山楽校”の一環。受講生9名、公園みどり推進室山森さんの計10名を受入。竹取物語の会の活動地でヒノキ間伐実習を行う。実習を通じて人工林の間伐方法を体得し、里山保全活動の重要性を感じてもらえたと思

う。枚方市土木部公園みどり推進室よりの依頼で、昨年のコナラ伐採体験に続いての実習。当日はチェーンソーを使用せず、玉切りまで手ノコで行うという少々キツイ作業だったが日頃の運動不足が解消されたと思われる。(岡春司)